

## トップインタビュー 畠経営グループ

経営者にとって、事業承継は避けて通れない重要なプロジェクトです。まずは、じっくりと腹を決め、信頼できるパートナーを見つけること。そして、引き継いだ後も事業が円滑に進むよう、見守っていくことが大切です。後悔のない承継とは何か。事業承継のノウハウを蓄積してきた畠経営グループの3人が、経営者の想いを次世代に引き継ぐためのポイントについて語り合いました。

畠善昭氏  
畠経営グループ会長



# 悔いを残さないために 避けた通れない事業承継

西谷氏 事業承継は、早ければ早いほどいいと思います。以前、高齢の経営者が「そろそろ後のことを考へないと」と話している最中に、急病で入院してしまったことがあります。病院で意向を伺

いましたが、意図疎通が難しく、なかなかスマートに進みません。そこで認知症になってしまった息子が、意図表ができないなくなります。また、経営者が不慮の事故に遭う可能性も口ではありません。

社長になった息子さんは経営権を制限され、売却もできません。この状態では、M&A（企業の合併）で会社を売却してしまうと、株式の所有者

### 手を離して、目を離さず

自分が苦労して育ててきた会社を誰かに託すのは、重い決断です。バトンを渡す側の心は「手を離して、目を離さず」。口出しはせずに、温かく見守ることです。経営の第一線から身を引く覚悟が、事業承継の成否を決めます。腹を決め、考えてみませんか？ 畠経営グループが、その一步をしっかりとサポートします。

## 健康なうちに、早めの相談を

自身が育ててきた会社や事業をどうするか、できるだけ早く方針を定めておくことが不可欠です。よくあるケースですが、会社の創業者が息子に社長を譲っても、創業者が自身が株式を100%保有したままという場合があります。ところが、父親が突然長期入院した際に、意図表ができないままうと、株式を動かすことすらできません。

親が亡くなった場合は、親族が相続人となり、複数の相続人に分かれてしまうと、運営が複雑になります。そのため、親族が亡くなればならないとなります。また、親族が他の親族に相続されると、社長が株式を承継できません。それでも、多額の納税資金を自分で用意しなければならなくなります。

藤田氏 先ほどの息子さんの話で言えば、社長はある息子以外の親族が「社長より1番多い」とおっしゃるのです。さらに、父の親族が「次に多い」とおっしゃるのです。よくあるケースですが、会社の創業者が息子に社長を譲っても、創業者が自身が株式を100%保有したままという場合があります。ところが、父親が突然長期入院した際に、意図表ができないままうと、株式を動かすことすらできません。

親が亡くなれば、親族が相続人となり、複数の相続人に分かれてしまうと、運営が複雑になります。そのため、親族が亡くなればならなくなります。また、親族が他の親族に相続されると、社長が株式を承継できません。それでも、多額の納税資金を自分で用意しなければならなくなります。

相続トラブルや納税資金の確保を考えた結果、社長が株式をすべて引き受けず、親族間に分割されてしまう場合、経営権を社長に集約できず、会社の運営に支障を来しきれども、細部を検討しないまま契約を結んで後悔したケースもありました。

会社が培ってきた事業と、それを支える従業員や財産をしっかりと守り、次の世代へ渡すためにも、承継に対する考え方を整理してお必要があります。

西谷氏 かといって、安易な承継は後悔する場合があります。同業者同士で、「もう引退するから会社は譲る」といった口約束で決まりました。細部を検討しないまま契約を結んで後悔したケースもありました。

会社が培ってきた事業と、それを支える従業員や財産をしっかりと守り、次の世代へ渡すためにも、承継に対する考え方を整理してお必要があります。

未然に防ぐためにも、早めの対策が必要です。

西谷氏 かといって、安易な承

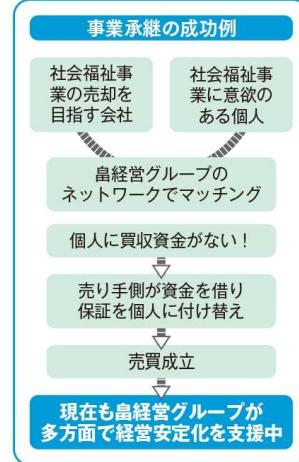
社内に後継者がいないという悩み、買い手は豊富な業界経験があるもの、資金調達が難しいという課題を抱えていました。

私たちも、社会福祉事業に特化した独自のネットワークを生かし、手元を発掘し、絶大的な支援を取り組みました。最大の障壁は資金でしたが、中期経営計画の策定を支援し、売り手側が金融機関

に対するのが、私たち畠経営グループです。私たちも税務会計だけで事業承継を含めた多様な専門家が在籍しています。複数の観点から総合的な解決策を導き出す企業参謀として、ワントップで経営者を支援します。

藤田氏 企業と個人をつなぎ、事業承継の成功事例を紹介します。以前、社会福祉事業の売却を目指す売り手と、独立を目指す個人をマッチングしました。売り手は

### ワントップの総合支援



### 行動する決断」がすべて

西谷氏 承継にあたっては、代出登記など、行政への届け出を行なうこともあります。

藤田氏 承継にあたっては、代出登記など、行政への届け出を行なうこともあります。

米永氏 事業をスムーズに後継

り手側に後ろめたい気持ちが生じることがあります。従業員や取引先との関係はどこまでも、雇用は維持されるのが、といった不安感は尽きません。私たちは時には新旧経営者と従業員の間に入つて調整を行うこともあります。

西谷氏 承継後のアフターフォロードでは、売却によって得た資産をどう活用し、第二の人生をどのように歩んでいくかを、経営者の方々と一緒にじっくりと考えていただきます。単なる資産運用や税金対策にとどまらず、お客様の本当にやりたいことを明確にして、その実現をサポートするための包括的なサービスを提供していきます。

米永氏 事業をスムーズに後継

者に引き継ぐためには、5～10年

の準備期間が必要です。「会社

を残さないか」を決め、引

き継ぎ先が決まつたら、株式や不

動産などをどうするか、具体的な

準備を進めていきます。

一番大切なのは、行動に移すと

いう決断です。迷った時は、ぜひ私

たち専門家にご相談ください。最初の歩から、承継後まで、一貫し

てサポートします。

西谷 豊氏

藤田 祐幹氏  
税理士法人畠経営グループ  
代表社員税理士  
代表取締役  
株式会社青山経営ネットワークス金沢

米永 大祐氏  
税理士法人畠経営グループ  
代表社員税理士  
代表取締役  
株式会社畠フューチャーナンシャル

畠経営グループは「報徳の精神」を

散するリスクも感じます。

藤田氏 先ほどの息子さんの話で言えば、社長はある息子以外の親族が「社長より1番多い」とおっしゃるのです。さらに、父の親族が「次に多い」とおっしゃるのです。よくあるケースですが、会社の創業者が息子に社長を譲っても、創業者が自身が株式を100%保有したままという場合があります。ところが、父親が突然長期入院した際に、意図表ができないままになります。また、経営者が不慮の事故に遭う可能性も口ではありません。

## ■事業承継セミナー

対象▶事業承継でお悩みの方

（定員）各回先着10名様

参加無料

畠経営グループの専門家が事業承継の事前準備について解説します。お気軽にお申し込みください。

人・株式・想いを…  
円満に事業承継するために  
必要な事前準備とは



（第1回）10月23日（木）各回とも

14:00～  
15:30

（第2回）11月18日（火）開場／13:30

（第3回）12月12日（金）

会場▶畠経営グループ 本館2階  
(金沢市疋田1丁目33番地)

お問い合わせ▶畠経営グループ TEL076-252-6195 (担当:北村)

承継者不在で第三者承継を考えている方、事業を承継したい方は個別相談可

参加希望の方は  
下記2次元コード  
からお申込ください。

